

東北の復興と 神奈川・横浜の減災を考える

〔YNU with Society 2012 フォーラム〕

地方自治体、産業界、スポーツ界、報道機関、大学

それぞれにできること、
相乗効果を最大化するには

3月9日[金] 15:00~17:50 (開場 14:30)

保土ヶ谷公会堂「講堂」 横浜市保土ヶ谷区星川1-2-1
相鉄線 星川駅 (徒歩4分)

定員：400名 **入場無料** お申込みの必要はございません。ご自由にご参加ください。
※ご来場者が限定数に達した際、入場をお断りする場合がございます。当日はなるべく早めにご来場ください。

お問い合わせ先：横浜国立大学 研究推進機構 産学連携推進本部 地域連携推進室
TEL：045-339-4455 (平日8:30-17:00)



NISSAN



東北の復興と 神奈川・横浜の減災を考える

地方自治体、産業界、スポーツ界、報道機関、大学

それぞれにできること、相乗効果を最大化するには

- 〈趣旨〉
- 2011年3月11日発生の東日本大震災からほぼ1年を経過。この間の被災地の復旧・復興はどうか？ また、これらを“他山の石”とせず地元神奈川・横浜についての自然災害についての対応… “減災”を検討し、社会へ訴求していく。
 - 昨年実施のフォーラムのテーマを引き継ぎ、地方自治体、産業界、スポーツ界、報道機関、大学それぞれができること、また連携して相乗効果を最大化するにはどうすべきかを検討する。
 - 2011.3.1、被災地の悲しみ、苦難などを風化させること無く、今後も支援を継続する機運を高めていく機会とする。

〈開催概要〉

15:00 - 15:10

【開会のご挨拶】

横浜国立大学長 鈴木邦雄

15:10 - 15:45

第1部
【基調講演】

『復興の今とこれからできること』

伊藤正志氏 毎日新聞社 論説委員

16:00 - 17:40

第2部
【パネルディスカッション】

東日本大震災からの教訓と神奈川・横浜の対応検討

《パネリスト》

岩本健治氏 横浜市 保土ヶ谷区役所 総務課長 久村春芳氏 日産自動車 フェロー

嘉悦 朗氏 横浜マリノス株式会社 社長 山本修司氏 毎日新聞社 横浜支局長

西條允敏氏 横浜国立大学卒業生 (株)街づくりまんぼう代表取締役 (石ノ森漫画館指定管理者) 柴山知也氏 横浜国立大学 名誉教授 (現：早稲田大学 理工学術院 教授)

《コーディネーター》

佐土原 聡 横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授/地域連携推進室 副室長

17:40 - 17:50

【閉会のご挨拶】

横浜国立大学 副学長 山田 均

《総合司会》

田添菜穂子 (元東北放送アナウンサー/横浜国立大学 経済学部卒業)

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

研究推進機構 産学連携推進本部 地域連携推進室

後援：  毎日新聞社 